

1. 件名 放射線被ばく線量測定業務
2. 目的 放射線作業に従事する本学職員等の保健及び安全保持のため、放射線被ばく線量測定用バッジによる放射線被ばく線量の測定を目的とする。
3. 契約期間 2026年4月1日～2031年3月31日
4. 契約方法 以下のバッジで各1件当たりの単価契約とする。
 ①放射線被ばく線量測定用バッジ (X・ γ , β 線用)
 ②放射線被ばく線量測定用バッジ (X・ γ , β , 熱中性子, 高速中性子線用)
 ③手指測定用バッジ (X・ γ 又は β 線用)
 ④水晶体測定用バッジ (X・ γ , β 線用)
5. 予定数量 以下の数量を5年間での予定数量とする。
 契約期間内に委託数量が予定数量を超過したときは、請負者は、その超過数量については、本契約単価をもって受託すること。ただし、契約の尽日において委託数量が予定数量に満たないときは、その数量を契約数量とする。
 ①放射線被ばく線量測定用バッジ (X・ γ , β 線用) : 55,000 件
 ②放射線被ばく線量測定用バッジ (X・ γ , β , 熱中性子, 高速中性子線用) : 3,100 件
 ③手指測定用バッジ (X・ γ 又は β 線用) : 800 件
 ④水晶体測定用バッジ (X・ γ , β 線用) : 400 件
6. バッジの条件 ①放射線被ばく線量測定用バッジは次のエネルギー範囲の測定ができること。
 X・ γ 線 10KeV～10MeV以上
 β 線 300KeV～3MeV以上
 熱中性子 0.025eV～0.5eV以上
 高速中性子線 500KeV～10MeV以上
 また、下記のものは次のエネルギー範囲の測定ができること。
 手指測定用バッジ : 15KeV～6MeV以上
 水晶体測定用バッジ : 15KeV～6MeV以上
 ②放射線被ばく線量測定用バッジは次の線量範囲の測定ができること。
 X・ γ 線 0.1mSv～10Sv以上
 β 線 0.1mSv～10Sv以上
 熱中性子 0.1mSv～6mSv (単独入射の場合) 以上
 高速中性子線 0.2mSv～50mSv以上
 また、下記のものは次の線量範囲の測定ができること。
 手指測定用バッジ : X・ γ 線 0.2mSv～1000mSv 以上
 : β 線 0.4mSv～1000mSv 以上
 水晶体測定用バッジ : X・ γ , β 線 0.1mSv～1000mSv 以上
7. 業務内容等 ①請負者は、本学が必要とする放射線被ばく線量測定用バッジ、手指測定用バッジ及び水晶体測定用バッジ (以下「バッジ」という。) を人事課にそれぞれ送付すること。
 ②バッジの申込が容易であること。また、追加送付は遅くとも請負者の翌営業日までには行うこと。
 ③請負者が所定部局に送付するバッジの種類・数量はその都度、人事課から請負者に通知する。

④人事課は、請負者から引き渡されたバッジを利用者に配付し、所定期間着用した後、回収・検査確認の上、請負者に引き渡すものとする。

⑤請負者は引き渡されたバッジを検査測定し、その結果を所定部局・分野及び各利用者別に記録し、人事課に2部（1部は各利用者に配布できるもの。）を送付し、データによる報告も行うこと。また、0.1mSV以上被ばくしたバッジは、人事課および医療部門放射線取扱主任者にメール等で通知する事。

⑥測定結果はインターネットを利用したサービスにより閲覧・確認することができること。また、各種帳票への印刷が行える事。

⑦人事課は、請負者から送付された測定結果通知書を確認のうえ受理し、各利用者宛の測定結果は各利用者に配布する。

⑧バッジの装着及び使用方法について、適切でない運用をされていたことが後日判明した場合、該当利用者の測定結果の訂正が可能であること。

8. その他

①バッジホルダーは軽量で、防滴、装着が容易であること。

②バッジは頑丈で、通常使用による落下等による破損がないこと。

③ラベルは着用月がわかるよう着用回毎に色を変えること。

④着用部位が容易にわかるよう文字、色、画等で判別できること。

⑤バッジホルダー表面ラベル以外でも利用者の判別ができるようバッジ本体にはQRコード等が付いていて容易に利用者の判別ができること。

⑥ケース、ホルダーは請負者の負担とし、素子を紛失した場合は、利用者の負担で更新する。

⑦他事業所での報告書の写しを提出することで、被ばく線量を引き継ぐことができること。

⑧被ばく歴は永久管理すること。